

## 平成 25 年度 大阪府立福井高等学校 第 3 回学校協議会 議事録

日 時 平成 26 年 2 月 12 日 (水) 15:00 ~ 16:30

出席者 学校協議会委員 5 名 (1 名欠席)  
事務局 6 名 (校長、教頭、首席 2 名 (うち 1 名、兼生徒指導部長、  
教務部長、進路部長)

### 1 校長あいさつ

### 2 資料の確認

- ・総合学科推進会議中間報告 ・総合学科新科目アンケート集計結果 (2 部)
- ・学校概要 ・課題研究について ・総合選択制アンケート結果
- ・学校教育自己診断 (保護者) アンケート結果 ・進路状況 (中間報告)

### 3. 事務局より報告

#### ① 学校自己診断 (保護者) アンケート結果について

- ・授業改善の努力による成果が出てきている。(昨年比 13.8 ポイントアップ)
- ・二極化の傾向がある項目があるのは、生徒の多様性に関係しているのかも。
- ・保護者の関心度と生徒の満足度には相関性があると考えられる。

#### ② 総合選択制高校アンケート結果について

- ・例年通り、多くの生徒がエリアや総合選択制に満足している。  
(他の総合選択制高校との比較においても良い結果が出ている)
- ・総合学科へ向けて、より継承発展していかなくてはいけない。
- ・エリアの内容と進路が結びついていないのは進路直結型エリアでないことが影響している

#### ③ 28 期生進路状況について

- ・概ね昨年と変化はなく、相変わらず公募、AO入試による進路決定が多くなっているのが現状である。最後まで頑張る生徒がもう少し欲しい。
- ・景気の回復が求人に与える影響は、職種によって温度差がある。(理系、文系など)
- ・各大学の入試制度が様々なので、それをうまく利用することも一つである。  
例えば、短期大学から四大への編入を狙うのもひとつの方法である。
- ・どれだけの生徒が、入学時の希望を実現しているかというのも総括する必要がある。(ここを売りにしている私学も多い)
- ・経験の少ない先生方の進路指導力 (進学先だけを探すのではなく、キャリア教育としての進路指導) を養成する必要がある。
- ・「とりあえず〇〇大学」ではいけない。何を学びたいか? 自分にとってどうか? 大学そのものに魅力を感じるか? が大切である。

#### ④ 総合学科について

<パワーポイントによる「総合学科」の説明>

<推進会議進捗状況など>

- ・「概要」の報告
- ・予算配当について
- ・学校訪問、校内研修などの取り組み報告
- ・新科目募集の進捗状況
- ・防災教育をツールとした地域連携
- ・エリア（総合選択制）の良いところをどう継承していくか など

<総合学科に向けて委員からの意見等>

- ・「繋がる力」という視点でいえば、地元茨木市において、小中連携、中学連携などによる組織的な授業力向上プランが提言され、「中小9年間の学び」の確立に向け、豊川中、北中がパイロット校となり、小中合同授業研などを実施し学力向上に向けた取り組みを進めている。来年度は「育てたい子ども像」をキーワードに取り組むが、将来的には保幼小中高が連携する総合的なキャリア教育が理想の形であると考えている。(福井高校としてもぜひとも地域の教育コミュニティーの一員として役割を果たしていきたい)
- ・科目の開設において「進路実現」は大きなポイントである、興味関心ばかりに目が向いてしまうと生徒にとって良くないだろう。
- ・卒業生が現役生徒に進路について語る場は大切である。
- ・科目選択にはしっかりとしたガイダンス「導き」は必要である。
- ・高齢化社会を迎える中、「命」についての教育とともに「死」についての教育も必要であると思う。
- ・地域には素晴らしい人材がいる。ぜひとも活用すべきである。

#### 4. 会長あいさつ